

# 動物園だより

No.148

平成21年4月1日発行

(題字 京都市長 門川大作)

## ～共汗でつくる新「京都市動物園構想」の策定について～

『近くて楽しい動物園』をテーマに平成27年度までの7年間で、京都市動物園が新しく生まれ変わります！

市民の皆様と共に新しい動物園づくりに取り組んで行くことになりました。

### 共汗でつくる新「京都市動物園基本構想」(素案)



素敵な動物園をつくらせー！

- \* 「動物園大好き市民会議」の設置
  - \* 『「親子」で語ろう！未来の動物園会議』の開催
  - \* 「京都市未来まちづくり100人委員会」での検討
  - \* 子ども達から絵画や作文を募集する
- 『子どもが描く「未来の動物園」』の実施

## できごと

新しくなりました!!

### シンボルマーク



『目を見開いて新たな発見が  
見つかる動物園!!』

### ロゴマーク



『京都市をイメージするもの  
として五重の塔と大文字をバ  
ックに配置、自然を表すア  
ースカラーを配色し明るく楽し  
い動物園を感じさせるもの』

## 動物画タペストリー 人気投票結果発表!

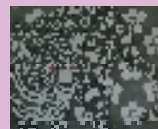
第1位☆

☆京都市立芸術大学の学生(5人)から  
園内の動物たちをテーマにした作品  
をいただき、人気投票を行いました。  
見事1位は、寺本彩さんの作品でし  
た。

題名『いきいきしてる』



題名『花模様』



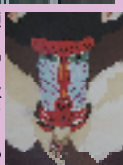
題名『ワシ』



題名『Koyoi』



題名『まごころの  
ロザー一日』



題名『おなががすいた』



題名『イブアナニ匹』



## 寄付のお知らせ



ありがとうございました

北法相宗大本山 音羽山 清水寺様、松尾稔様から  
寄付金をいただきました。



# 動物園における『調査・研究』

みなさんは動物園の社会的役割についてご存知でしょうか？

- 動物園の主な役割は・・・
- ① レクリエーションの場・・・余暇をリラックスして過ごす憩いの場を提供する
  - ② 社会教育の場・・・動物や自然環境について学習する場を提供する
  - ③ 自然保護の場・・・希少な野生動物を保護・繁殖を行う
  - ④ 調査・研究の場・・・動物の繁殖・生態等について調査・研究を行う

の4つとされています。従来は「レクリエーションの場」としての役割が主なものでしたが、近年は、その他の3つの役割も重要になってきています。

今回は「自然保護の場」・「調査・研究の場」として、京都市動物園がどのようなことに取り組んでいるかを紹介したいと思います。

## 繁殖について・・・

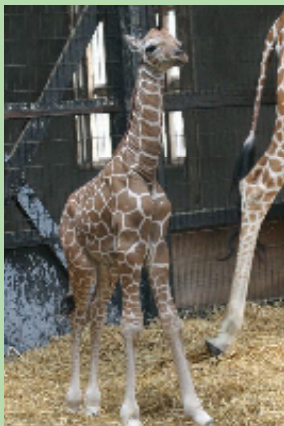
### 1) 性ホルモン濃度の測定

アミメキリンでは、糞の中に含まれている性ホルモン濃度を岐阜大学動物繁殖学研究室に依頼して測定し、共同して繁殖生理の解明に取り組んでいます。

性ホルモン濃度を測定することにより、動物が妊娠しているかどうかを調べたり、出産がいつ頃になるのかを予測したりすることができます(図1)。検査には落ちていた糞(写真1)を採取すればよいので、採血することが難しいキリンでは大変有用な方法です。また、動物にストレスを与えずに行うことができるのも大きな利点です。リュウオウの時も今回も、これで妊娠を確認することができました。

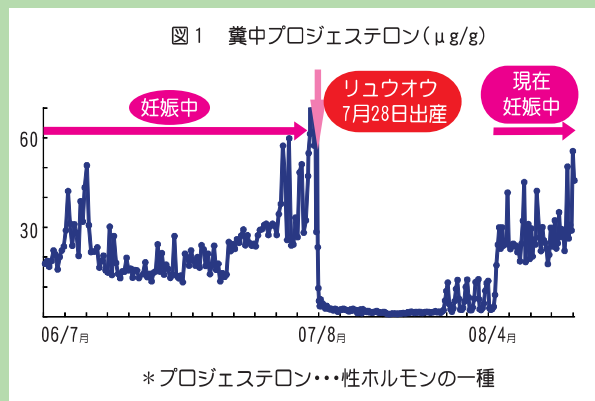


写真1

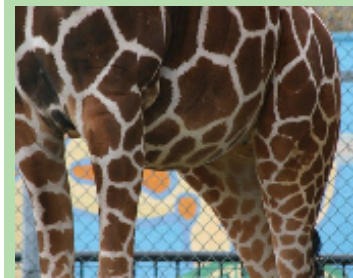


『2007年7月29日撮影』

リュウオウは、この春他園に移動する予定です。行き先は決まり次第、ホームページやキリンタイムズでお知らせします。



\* 全ての動物で、糞からホルモン濃度が測定できるわけではありません。



『2009年2月21日撮影』

お腹が段々大きくなってきました。出産予定日は6月末～7月上旬になります。それまで温かく見守ってください。

### 2) 人工授精, 配偶子(精子・卵子)の保存

神戸大学動物多様性教室と共同し、交尾行動が見られないシロテテナガザルのペアの間で、人工授精を行い(写真2)、繁殖に成功しました(写真3)。人工授精は自然繁殖が不可能な個体でも繁殖が可能になりうるため、動物園における個体数の維持や種の保存に大きく貢献することができます。また同研究室とは配偶子の冷凍保存(配偶子バンク)も行っているため、将来的には死亡した個体の子供を、人工授精により誕生させることができるかもしれません。



写真2 人工授精に用いる精子の採取

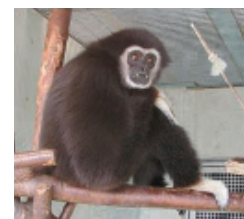


写真3 人工授精に成功し誕生した「ダイチ」ですが、H20年12月末に亡くなりました。



### 3) 鳥類の雌雄判別

鳥類の約50%は外見から雌雄が判別できません。雌雄がわからないとペアリングができないため、繁殖がうまくいきません。そこで、羽根や血液からDNAを採取し、遺伝子検査(図2)によって雌雄判別を行っています。得られた結果から、繁殖のために新しい個体の導入やペアリングを行います。



図2 アナホリフクロウの遺伝子検査

## 獣医学について...

### フンボルトペンギンの鳥マラリア



死亡したフンボルトペンギンの病理組織検査を岐阜大学獣医病理学教室に依頼したところ、蚊が媒介する鳥マラリア(図3)に感染していたことが判明しました。この結果を受けて、同居していたフンボルトペンギンに感染が広がっていないかを検査し、治療することが出来たため、未然に防ぐことが出来ました。

現在は、日本大学野生動物学研究室に血液検査・遺伝子検査を依頼し、予防薬を投薬することで、鳥マラリアの防疫を行っています。



図3 血液中のマラリア

## 行動学について...

### アミメキリンの成長による母子行動の変化

リュウオウが生まれてから、大阪大学比較行動学研究室と共同でアミメキリンの行動観察をしています。リュウオウの成長と共に、授乳行動(写真4)や、リュウオウがミライを追いかける行動(図4)などの母子間の行動がどのように変化していくかを観察しました。観察から動物の行動を明らかにすることは、今後の飼育・管理に大変有用な情報をもたらしてくれます。



写真4

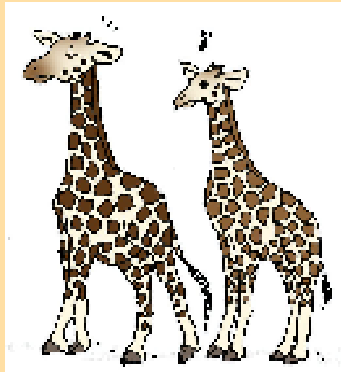


図4



『リュウオウが座っているミライに早く立ってとせがんでいるところ』

## 京都大学との連携について...

昨年4月から、京都大学野生動物研究センター (Wildlife Research Center: WRC) と野生動物の保全・研究、動物園での教育活動の充実を目的とした連携事業を開始しています。この連携により、WRCの研究員が動物園に常駐し調査・研究を行っています。これまでに、「ニシゴリラの行動観察」や「霊長類の心の進化」などの研究を行っており、これらの研究は来園者が見学できる場所で実施されているため、「調査・研究の場」としての動物園を実感していただけると幸いです。



## 動物園にできること...

多くの野生動物は、生息地の破壊等で減少しています。希少な動物を絶滅させないために、動物園における保全是ますます重要になると考えられます。今後、希少動物の保全に少しでも貢献できるよう、取り組んでいきたいです。また、このような取り組みを来園者のみなさんに紹介し、自然保護について関心を持っていただければと思います。

ZOOスポット 64



今回は、動物園勤務3年目の獣医師・伊藤英之さんにスポットをあててみました。

1年目は、先輩獣医師についていろいろな動物園業務を学びました。獣医の仕事であると多くの方が想像しているだろう動物の診療やワクチン接種などの病気予防はもちろんのこと、動物異動・繁殖・血統管理などの動物の管理に関すること、研究機関との調整や園内の教育普及活動など、動物園の業務が大変幅広いものであると感じました。

2年目からは診療動物の担当を持ちました。1年目の時は先輩獣医師について補助をしていればよかったのですが、2年目になると自分が主体になってやらなければいけません。キリン・アカゲザルやワオキツネザルの治療やマンドリルの搬出など、いろいろなことを経験しましたが、印象に残るのは亡くなってしまった動物たちです。昨年、アカゲザルの「ゴン」やシロテテナガザルの「ダイチ」などが治療の甲斐なく死亡してしまいました。特に「ダイチ」はまだまだ若く、ずっと元気だったのに、体調を崩してからわずか1週間ほどで亡くなってしまったので、治療や麻酔の判断は正しかったのか、他にやれることがあったのではないかと

いう思いが強くあります。動物園動物の診療は血液検査やレントゲン検査などの検査が難しいこと、動物に関する情報が圧倒的に少ないこと、また多種多様な動物を飼育していることから、大変難しいものであると感じています。今後もおそらく自分の知識・実力不足を痛感することがあると思いますが、そんな機会が少しでも減らせるよう、努力していきたいと思います。

学生の時に野生動物（猛禽類）の保全についての研究をしており、野生動物の保全にかかわる仕事ができたらと思っていたので、今後は、「繁殖」や「調査・研究」にも積極的に取り組み、少しでも希少動物の保全に貢献したいと思います。



飼育員のひと工夫！

飼育員が、動物たちや見に来ていただいているお客さんのために、いろんな工夫をしているのでのぞいてみましょう！

其の4



狭いながらも楽しい我が家(〜^~)v

今回はキリン舎です。

かゆいところをかいたり、体をマッサージしたりできるよ！



『マゴノテイ5号』



『マゴノテイ8号』

高い木の葉を食べる、キリンのための枝吊り装置。食べた後も、枝を揺らして遊ぶよ！



『なが〜くアイシテ』



『マゴノテイ・ミニ』



『おやつ棒』

枝や餌の入ったカゴをぶら下げる棒！カゴの隙間から上手に食べるよ！

定期購読を希望される方は、80円切手4枚（1年分）を同封して京都市動物園までお申し込み下さい。

動物園だより No.148  
発行所 京都市動物園  
京都市左京区岡崎法勝寺町岡崎公園内 TEL075(771)0210